

「帰り道」定期テスト対策練習問題①

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 学校の玄関口で「ぼく」と「周也」が会って、一緒に帰る場面の中で、周也の性格がわかる一文を本文からぬき出して、最初と最後の5字を答えましょう。

【最初の5字】

【最後の5字】

問2 (第3段落・2行目)「周也と二人きりの帰り道が、はてしなく遠く感じられる。」とありますが、これには「ぼく」のどのような気持ちが表されていますか。もっとも正しいものを次の中から選び○でかこみましょう。

ア：周也と二人きりになるのが気まずい

イ：周也と二人きりになるのは恥ずかしい

ウ：周也と二人きりになれて嬉しい

エ：周也と二人きりになるのは久しぶりだ



問3 (第5段落・9行目) 「今日のぼくにはついていけない。」とありますが、「ぼく」が周也の話についていけないのはなぜですか。「～から」とつながるように、本文から12字でぬき出して答えましょう。

問4 「ぼく」と周也がいっしょに帰りはじめた場面で、周也のことを別の言い方で表している言葉を本文から13字でぬき出して答えましょう。

問5 (第6段落・2行目) 「ぽんぽん答えていく」とありますが、これと対照的に書かれている「ぼく」の行動を表す言葉を本文から11文字でぬき出して答えましょう。

問6 (第7段落・6行目) 「先のとがったするどいものが…(中略) …ずきっとささった」とありますが、「先のとがったするどいもの」とは何の何を表していますか。

問7 (第7段落・7行目) 「そのまま今もささり続けて、歩いても、歩いても、ふり落とせない。」とありますが、これを別の言い方で表した言葉を本文から12字で抜きだして答えましょう。



問8 「白ける」の意味として正しいものを次の中から選びましょう。

ア：もりあがっていた気持ちがしぼむ

イ：忘れていたことを思い出して怒る

ウ：思いどおりにならない相手にガッカリする

エ：相手の気持ちがわからず困る

問9 （第8段落・12行目）「ぐんぐん前へ進んでいくんだろう」とありますが、これと対照的に書かれている言葉を本文から11字でぬき出して答えましょう。

問10 （第9段落・13行目）「はあ。声にならないため息が、ぼくの口からこぼれて」とありますが、このときの「ぼく」の気持ちとしてもっとも正しいものを次の中から選びましょう。

ア：どんどん先に行ってしまう周也の勝手さにあきれている

イ：だまりこんだまま周也と2人で帰ることを気まずく思っている

ウ：返事をしないぼくに、周也が怒っていると思っている

エ：周也とくらべて自分をなさけないと思っている



問 1 1 「ぼく」が、周也に対して思っている気持ちとして
もっとも正しいものを選び○でかこみましょう。

ア：自分も周也のように思っていることを言えるようになり
たい

イ：思っていることをハッキリ言う周也の性格は好きでは
ない

ウ：「ぼく」の言いたいことを分かってくれない周也は冷
たい

エ：昼休みのことを謝るので、周也に許してほしい

問 1 2 （第 1 1 段落・1 行目）「空一面からシャワーの水が降っ
てきた」とありますが、この「シャワー」とは何のことです
か。本文から 3 字でぬき出して答えましょう。

問 1 3 （第 1 3 段落・7 行目）「水滴を雨と認めるのには、少し
時間がかかった」とありますが、その理由を「～から」と
つながるように、本文からぬき出して答えましょう。

問 1 4 「またたく間」と同じ意味をもつ言葉を本文から 6 字で
ぬき出して答えましょう。



問１５ （第１３段落・８行目）「おやみにじたばたし、意味もなくとんだりはねたりして」とありますが、「ぼく」はこの周也とぼくの行動を、どのように表現していますか。本文からぬき出して答えましょう。

問１６ （第１４段落・１１行目）「本当に、あっというまのことだったんだ」とありますが、何が「あっというま」だったのですか。「～こと」とつながるように、本文から１１文字でぬき出して答えましょう。

問１７ （第１５段落・１４行目）「単純すぎる自分がはずかし」とありますが、「ぼく」は自分のどのようなところを「単純すぎる」と感じていますか。「正しくない」ものを次の中から選びましょう。

ア：天気雨にはしゃいで、とんだりはねたりしたこと

イ：天気雨を、とっさにシャワーの水だと思ったこと

ウ：雨で濡れた周也の前がみを見ただけで大笑いしたこと

エ：大笑いしただけで、みぞおちの異物が消えてきたこと



問 18 (第 16 段落・6 行目) 「ほんとに両方、好きなんだ。」
という「ぼく」のセリフは、周也のどんな言葉に対して向け
られたものですか。本文から周也の言葉を「 」ごとぬき
出して答えましょう。



「帰り道」 定期テスト対策練習問題①（解答）

問1 【最初の5字】 うわばきを
【最後の5字】 ぞかせた。

【解説】 抜きだす一文は、「うわばきをぬぎながら周也が言って、くつしたにぽっかり空いた穴から、やんちゃそうな親指をのぞかせた。」 「穴の空いたくつした」や「やんちゃそうな親指」から、周也のあまり細かいことを気にしないやんちゃな性格がわかる。

問2 ア

【解説】

よくいっしょに登下校をしていた道と同じ道なのに、今日は「はてしなく遠く」感じるというのは、「周也と二人きりでいる時間がつらい」ので、早くこの時間が終わらないかと思うぼくには「はてしなく遠い」と感じてしまうのである。

問3 あのことを引きずっている（から）

【解説】 「ぼくだけがあのことを引きずっているみたいで」から、「ぼく」が周也の話についていく気になれないのは、「あのことを引きずっている」ことが理由なのが分かる。



問4 一歩前に行く紺色のパーカー

問5 ごによごによ言っていた

問6 (例) 「どっちも好きってのは、どっちも好きじゃないのと、いっしょじゃないの。」という周也の言葉

【解説】ほかに、「周也の言葉」「周也のセリフ」などでも正解。「周也の」という言葉を入れるようにしよう。

問7 あのことを引きずっている

問8 ア

【解説】「白ける（しらける）」とは、おもしろみがなくなる・興がさめて気まずくなるという意味。

問9 すぐに立ち止まっちゃう

問10 エ

【解説】「どんなこともテンポよく乗りこえて、ぐんぐん前へ進んでいく」周也に比べて、自分はなぜ「すぐに立ち止まっちゃうんだろう」となさけなく思っている。



問 | 1 ア

【解説】「その「こんな」をうまく言葉にできたなら、周也とちゃんとかたを並べて、歩いていけるのか。」とあることから、「ぼく」はちゃんと思っていることを言えるようになって、周也と対等になりたいと思っていることがわかる。

問 | 2 天気雨

問 | 3 晴れているのに雨なんて、不自然すぎる（から）

【解説】晴れているのに雨なんて降るはずがないので、「ぼく」は体中に打ちつける水滴がまさか雨だと思わず、認めるのに時間がかかってしまった。

問 | 4 あっというま

問 | 5 うっかりはしゃいだ

問 | 6 天気雨が通り過ぎていく（こと）



問 | 7 イ

【解説】「ぼく」は、周也の言葉をずっと引きずって悩んでいたはずなのに、とつぜんの天気雨にうっかりはしゃいでしまい、気まずいと思っていた相手の周也の前がみを見て大笑いしてしまい、そして笑ったことで、あれだけ引きずっていたみぞおちの異物が消えてきていることを「単純すぎる」と感じていると考えられる。それに対して、天気雨をシャワーの水だと思ってしまったことは、「晴れているのに雨なんて、不自然すぎる」と書かれていることから「単純で恥ずかしい」とは思っていないと考えられる。よって、イが正しくない。

問 | 8 「どっちも好きってのは、どっちも好きじゃないのと、いっしょじゃないの。」

※当テストでは、著作権侵害を避けるために本文の掲載を控えています。

問題・解答の内容が本文のどこにあるのかを示すために、段落と教科書に掲載されているページ上の行数を表記しています。

